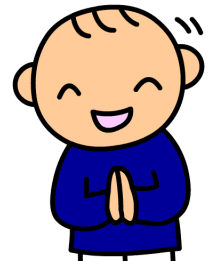




## ○自立支援協議会との連携

自立支援協議会とは、地域における障害福祉に関する関係者による連携及び支援の体制に関する協議を行うための会議のことです。

岡山支援学校では、教育支援・地域連携係が各地域の自立支援協議会に参加し、地域連携を図ることになっています。今年度は、岡山市・東備地域・瀬戸内市・赤磐市・高梁市の自立支援協議会に参加し、情報交換等により連携を深めました。各地域の自立支援協議会の活動状況を簡単に紹介します。



### 【岡山市】

岡山市は、地域に関わる課題を解決するために、その課題に専門化した九つの部会を設置しています。本校は、教育に携わる関係者による「教育部会」に参加しています。教育部会は、学校間（市と県、小中高）の連携を深めると共に、**エリアごとに児童生徒を支えていくためのしくみづくり**を行っています。例えば、移行支援会議や福祉制度説明会等の企画・調整が代表例です。

### 【東備地域】

東備地域は、昨年度赤磐市が独立し、備前市・和気町で構成されるようになりました。今年度は、部会等の再編に向けて継続して検討を重ねています。岡山市のように子どもに関係する教育部会または子ども部会を設立できるように検討しています。また、**子育てについて相談し合える「障害のある子を持つ親のための茶話会」も計画・実施**しています。11月21日には、夢トピア長船で東備福祉フェスタを開催し、本校もパネル展示で学校紹介をしました。

### 【瀬戸内市】

瀬戸内市は多分野・多職種が集い、日々の相談や個別支援会議から明らかになる地域課題に対する解決方法の検討や情報共有、関連事業所・機関のネットワークづくりを行い、**障害のある方が普通に暮らせる地域づくりを目指**しています。本校は「こども部会」「就労部会」に参加し、連携を図っています。今年度は、「せとうち保健福祉フェスタ」や「ワーキングフェア in 瀬戸内市」などの行事を行い、様々なニーズに答えていきました。

### 【赤磐市】

赤磐市は、東備地域より独立し、**障害のある人が普通に暮らせるまちづくりを目的**に、今年度より組織づくりや活動を開始しています。暫定部会として「くらす」「そだつ」「はたらく」「まちづくり」の部会があり、本校は「そだつ部会」に参加し、子育てに係る機関の実態を把握しながら市内の支援について課題を整理するとともに、子育て支援の連携体制の確立を図ってきました。

### 【高梁市】

高梁市は、「**心のつながりを大切に 支えあい助けあう 安心のまち**」を福祉の基本方針として、障害者が地域のなかで自立できる環境づくりを進めるとともに、コミュニティの支えあい、住み慣れた家庭や地域で暮らし続けられる地域社会づくりに取り組んでいます。「地域生活支援」「児童」「就労」「精神保健」の部会があり、本校は「児童部会」に参加しています。子育て支援を重点課題に、様々な企画により活発に活動を展開しています。

## ○自立支援協議会から耳寄りな情報

\*\*\*\*\*

高梁市は、子育て応援ドラマ「さくらとあゆ〜高梁で生まれた私の物語〜」を制作しました。インターネットYoutube (<https://youtube.be/PAj78JD5ucg>) で鑑賞できます。

\*\*\*\*\*

**毎年4月2日は、国連の定めた「世界自閉症啓発デー」です。(4/2～8は、発達障害啓発週間)**



World Autism Awareness Day

国連総会（H19.12.18 開催）において、カタール王国王妃の提案により、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」（World Autism Awareness Day）とすることが決議され、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みが行われています。わが国でも、世界自閉症啓発デー・日本実行委員会が組織され、自閉症をはじめとする発達障害について、広く啓発する活動を行っています。毎年、世界自閉症啓発デーの4月2日～8日を発達障害啓発週間として、シンポジウムの開催やランドマークのブルーライトアップ等の活動を行っています。

\*\*\*\*\*

## ○岡山支援のボランティア（地域からの支援）状況は？！

**今年度もたくさんのボランティアのみなさんに、ご協力をいただきました。**

本校では、学校行事や授業の支援等においてボランティアを募集し、地域の教育資源（支援）を積極的に取り入れています。ボランティアについては、ホームページまたは口コミで知り登録される方が多いのですが、中には教育実習で児童生徒や教職員に接し、本校の教育に強い関心を持ち登録される方もいます。大半が大学生の方ですが、社会人の方や交流校の中学生もいて多彩です。年齢や職種は様々ですが、みなさんボランティアの主旨を真摯に受けとめ、守秘義務等のルール・マナーを厳守し活動（支援）していただいています。



今年度のボランティアの状況については、学校行事等が93名（体育大会 10名・寄宿舎祭 26名・サマースクール 16名+高島中生徒 9名・文化祭 27名）、授業支援が9名（延べ78回）でした。来年度は、社会見学時に同伴していただくことも考えていて、教職員ではない人との活動を通じて児童生徒の学習や経験の幅をさらに広げることを検討しています。

## ○図書を紹介《こんな本を参考に指導・授業づくりをしています。》



『**あたらしい わたしたちの うんどう**』

NMBP研究会◎編著

ジーアス教育新社 1,800円(税別)

横浜市立中村特別支援学校の

NMBP（中村うんどう基礎プ

ログラム）の実践研究をまとめた図書。からだの緊張を緩めリラックスするための学習を収録し、学校で、家庭で活用できる、重度障害児を指導する教師、保護者にとって待望の一冊です。



『**コアコンディショニングとコアセラピー**』

◎平沼憲治・岩崎由純 監修

◎蒲田和芳・渡辺なおみ 編集

講談社 4,200円(税別)

疲労回復、姿勢・コアの安定

性・全身協調性の改善を目的とした新しいエクササイズ体系であるコアコンディショニング。その特徴は、安全性・再現性・簡便性。自立活動の指導や授業づくりの参考にしています。

